

横浜市重要 施策アンケート

「未来を創るアンケート」に ぜひご協力ください。

小児医療費助成や敬老パスは、平成28年度から29年度にかけて見直し検討が予定されています。
より良い制度にするために、検討段階でも積極的に市民にお知らせし、情報共有致します。

1. 小児医療費助成

お子さんが、病気やけがで医療機関を受診したときに、年齢に応じ保険診療の一部負担金を助成する制度。通院の場合で横浜市は、小学校3年生まで助成(平成27年10月より)。小児医療費助成を受ける際に、保護者の所得制限があります。

Q1. 制度があることを

- ① 知っていた。
- ② 知らなかった。

Q2. 助成対象年齢を

- ① 現状のままでいい。
- ② 拡大すべき。
何歳まで拡大すべきかも
お答え下さい。

Q3. 小児医療費助成の 一部窓口負担金を

- ① 導入すべき。
- ② 導入すべきでない。

2. 敬老パス(敬老特別乗車証)

高齢者の方々が豊かで充実した生活を送るための支援の一つとして発行している乗車証で、市内にお住まいの70歳以上の希望される方に交付(交付率約60%)。利用者には、事業の運営費用の一部として、その方の収入状況等に応じた負担金をお願いしています。

Q4. 制度があることを

- ① 知っていた。
- ② 知らなかった。

Q5. 交付対象年齢(現在70歳以上)を

- ① 現状のままでいい。
- ② 引き上げるべき。
何歳まで引き上げるべきかも
お答えください。

Q6. 事業費約106億円のうち約17%が 利用者負担となっていますが

- ① 利用者負担率は現状のままでいい。
- ② 利用者負担率は引き上げるべき。
- ③ 利用者負担率は引き下げるべき。

3. 市民負担と 行政サービス給付

日本の平成27年時点での税金や社会保障負担などを合わせた国民負担率は約45%。赤字財政分を加えると約50%。負担率は、国民の公的な負担の大きさを表します。

Q7. 負担と給付の関係は

- ① 現状のままでいい。
- ② 負担を増やしてでも
給付を向上させるべき。
- ③ 負担を減らし、給付を減らすべき。

※郵便(平成29年3月31日の消印まで料金不要)又はFAXでお送りください。

※FAXをお持ちの方は、FAXでの送信にご協力をお願いいたします。

FAX 045-532-9089

ご質問やご意見のある方は、当欄にご記入の上FAXでお送りください。
郵送の際は、はがき表面の記入スペースをご利用ください。

横浜市重要施策アンケート

■回答欄には、上記のアンケートの回答番号でお答えください。

1 小児医療費助成	Q1	Q2	Q3	2 敬老パス	Q4	Q5	Q6	3 市民負担と行政サービス給付	Q7
	()歳まで	()歳まで	()歳まで		()歳まで				

■差し支えない範囲でご記入ください。

フリガナ				性別	<input type="radio"/> 男	<input type="radio"/> 女	職業	
お名前								
年代	<input type="radio"/> 19歳以下	<input type="radio"/> 20歳代	<input type="radio"/> 30歳代	<input type="radio"/> 40歳代	<input type="radio"/> 50歳代	<input type="radio"/> 60歳代	<input type="radio"/> 70歳代	<input type="radio"/> 80歳以上
ご住所	〒 -							
お電話				E-mail				

FAXで送信していただける方は **045-532-9089**

・個人情報は適切に管理します。
・ご連絡先の記入がある方には市政レポート等を郵送する場合があります。

勇気ある変革を目指す

望月こうとく

横浜市議員(都筑区)



＋望月こうとく政務活動事務所

TEL&FAX 045-532-9089

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-24-17
ペルー・ジュスクエア2F

＋くらしのガイド

横浜市コールセンター TEL 045-664-2525

都筑区役所 TEL 045-948-2323

都筑土木事務所 TEL 045-942-0606

区休日急患診療所 TEL 045-911-0088



切り取って
必要の際に
ご利用ください